



YAMATO-NAKA ROTARY CLUB

1672号

会 長	横澤 創	会長エレクト	岸 幸博	事 務 所	大和市大和南2丁目1番1号
副 会 長	松崎正実	幹 事	入江公敏		大和中央ビル 301
会報委員会	小柳智裕	阿萬正巳	後藤定毅		TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818
	古郡 清	石川達男			E-mail : naka-office@ynrc.jp
例 会 場	八千代銀行 大和支店 4F (毎週木曜日)				URL : http://www.ynrc.jp

国際ロータリーテーマ

Peace Through Service

「奉仕を通じて平和を」

RI会長 田中作次

大和中ロータリークラブ会長ターゲット

週一度 みんなに会える 楽しみ

【本日のプログラム】 5月23日 第6回クラブ協議会「次年度へ向けて」会長エレクト 岸 幸博 君
 【次回予告】 5月30日 夜間移動例会 イニエーションスピーチ 池澤 利男 君 場所 北京飯店

【第1667例会】平成25年5月16日(木) 【司会SAA】 高橋 清 君 【斉唱】「我らの生業」
 【ソングリーダー】 北砂 明彦 君 【ピジター】 木村 教義 様(川崎中央RC)、見上 周太 様(綾瀬RC)
 【ゲスト】 柏木 照明 様(柏木学園長)、壽永 純昭 様(ガバナー補佐)、佐々木 和夫 様(次年度ガバナー補佐)

会長の時間 横澤 創 会長

本日は、壽永純昭ガバナー補佐並びに佐々木和夫次年度ガバナー補佐がお見えです。御挨拶をお願いします。



先週5月9日の創立35周年記念家族例会には、多くの会員、ご家族の皆様が出席され、厳粛な中にも楽しく35周年のお祝が出来ました。有難うございます。親睦活動委員会の皆様には、いつも素晴らしい企画を立てて頂き感謝の気持ちでいっぱいです。帰り際に奥さまたちから「今日は本当に楽しかった。有難う」と言葉を掛けて頂いた事が印象深く心に残っています。

また今回の創立35周年記念事業であるロータリー希望の風奨学金への寄付は、震災遺児に元気を与え、将来の日本の、とりわけ東北の復興を支える大きな力に役立つものと思います。御案内のように当時のガバナーである後藤会員に目録をお渡し、別途ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会に送金を致しましたが、後藤さんも今回この協議会に個人として御寄付された事を併せてご報告いたします。皆様本当に有難うございました。

同日、台湾高座会留日70周年歓迎大会が座間ハーモニーホールで開催され、橋本吉宣君のお誘いで行って参りました。台湾高座会とは、1943年太平洋戦争の真ただ中、海軍の戦闘機「雷電」を生産する工場「高座海軍工廠」に動員された台湾少年工の同窓会です。

数次に亘って台湾から高座工廠に来日した少年工は合計8400人。平均14～5歳で構成され、その第1次が高座工廠に入廠したのが5月9日。それから70年の歳月が流れ、少年工たちも傘寿半ば以上の高齢となりました。

会員数	出席者	出席率	前々回修正	出席免除	欠席者 6名(敬称略)
43名	36名	85.71%	87.80%	6名	引田、北島、小柳、中西、梅野、池澤

高座工廠は、相鉄線さがみ野駅北側30万坪の敷地に工場を建設し、上草柳地区に40棟の寄宿舍を建築しました。その時の舎監が石川公弘実行委員長のお父上で、その縁で50年、60年、そして本年の70年歓迎大会の実行委員長を務められています。

私は、この歓迎会で強いカルチャーショックを受けました。

戦後の教育を受けた私たちは、歴史教育に関して、朝日新聞の論調に代表されるような自虐史観、つまり日清、日露、太平洋戦争の一連の時代は近隣諸国に多大な損害と苦しみを与えた時代であり、悪いのは日本、反省すべきは日本という教育を受けてきました。

ところが、老いた台湾少年工の話を読み、手記を読むと別の真実が浮かび上がってくるのです。台湾には親日家が多いという単純なものではなさそうです。

本年1月の4クラブ合同例会で講演を頂いた山科誠氏(ペンネーム茶屋二郎氏)が喝破された「歴史は勝者の歴史で、真実ではない」という言葉が脳裏を巡りました。

日清戦争で日本が勝利し、台湾が日本に割譲されたのが1895年。1945年の敗戦までの50年間、台湾は日本そのものでした。日本のとった植民地政策は、欧米列強の搾取を目的とする植民地政策と違い、本土以上に人材と予算をつぎ込み、鉄道、水道、電力を初めとするインフラの構築、教育、農業振興に注力しました。特に教育では、義務教育制度を取り入れた事で、1943年の統計では就学率が71%とアジアでは、日本本土に次ぐ高い水準であったと聞きます。乃木希典総督、児玉源太郎総督、後藤新平民生局長等、歴史に名を残した逸材を派遣した事でも、如何に日本政府が台湾政策に真剣に取り組んでいたかが窺われます。

日本人として生まれ、日本人として教育を受けた台湾少年工たちは、海軍の募集に競って応募しました。日本で飛行機作りを学びながら、給料がもらえ、一定の期間を勤めれば上級学校卒業の資格を得ることが出来るこの制度に、級長、副級長クラスの優秀な人材が集まりました。そして、高座工廠を起点に全国の航空機工場に派遣され、海軍機

の製造と整備に従事しました。その高い技術と仕事への忠誠心は各地で称賛され、この年頃の日本人としては誰よりも勇敢に戦ったそうです。

1945年8月15日の終戦を境に戦勝国、中華民国の国民となった8000人の台湾少年工は、指揮する海軍将校もいなくなり、給料も食料も支給されず、無法地帯と化しました。上草柳や深見の農作物を盗み、牛、豚を殺し、暴徒化した時期があったそうです。大和の古い農家の方々は台湾少年工の事を良く言う人がいないのは、そのような事実があったからです。

しかし、彼らはその後、年長者のリーダーシップより自治組織を作り、再び統率された組織となり、外務省、神奈川県と交渉を重ね、食料の支給、未払い賃金を確保し、順次台湾へと帰りました。

さて、日本は台湾を50年間、朝鮮を35年間統治しました。同じ植民地政策をとりながら、何故台湾は親日なのでしょう。理由の一つとして台湾の戦後の歴史があるようです。蒋介石国民党は、中国共産党に追い出されるように台湾に政府を作りました。米国は反共の一点で蒋介石を援助し、内政には干渉せずという立場をとりました。蒋介石国民党、いわゆる外省人は、数では圧倒的に多い台湾人すなわち内省人を統治するために、戒嚴令という名の下、徹底した弾圧を行いました。白色テロと言われるもので、言論の封じ込め、密告の奨励、という暗黒の時代が38年間続きました。台湾版の文化大革命です。この暗黒の時代を経験した台湾人は「犬去りて、豚来る」と揶揄しています。犬(日本人)はうるさくても役にたつが、豚(国民党)はただ貪り食うのみと。

二つの外来政権を経験した台湾人は、日本の統治時代を冷静に評価し、その実績を称えます。台湾少年工の言葉より2~3御紹介します。

「私たち台湾人は日本の統治を50年、中華民国の統治を50年、統治されるものとして下から比較して見ている。片方を百点とすれば、他方は零点だ。例えば鉄道、日本は50年の間に、台湾全島に鉄道を張り巡らしたが、後から来た奴らはそれを50センチも延ばさなかった。共産軍が攻めてくるのに備えて、儲けたカネはみんな米国に送ってしまった」
「日本時代は戸締りの必要がなかったが、中国

人が入ってきたら、軍隊まで盗みをする。家の窓という窓は鳥籠のように鉄格子をはめるようになった」

「日本は統治の1年目に公学校を50校も建てたが、中国人は図書館にある本まで紙の原料として売り払ってしまった」

「日本時代も社会的差別はあったが、司法は公平だった。しかし、中国人の時代になると、裁判は必ず中国人に有利になる」

このような証言は、いかに戒厳令の時代が台湾人にとって過酷な時代であったかということが分かります。

李登輝台湾総統が誕生し民主化を推し進めた結果、アジアではいち早く民主国家の仲間入りを成し遂げました。台湾少年工は戒厳令が解除されるや高座会を結成し、「第二の故郷」「心の祖国」高座に思いを寄せています。台湾高座会は全国規模の総会を開催していますが、2012年で第25回と聞いています。それは台湾が自由の国になってから、25年を迎えた事を意味します。

李登輝氏の言葉を引用しますと「戦後の歴史は勝者の作ったものであり、勝者に都合のいいものである事を、台湾人は命がけで知った」と語っています。偶然にも、山科誠様のご講演に相通じるものでした。

私の頭に刷り込まれた自虐史観という黒い霧が、老いた台湾少年工の生の声を聞き、手記を読むことによって、すっかりと晴れた日となりました。

本日は、大和教育界の重鎮であります柏木様の卓話です。機会があれば、歴史観についても御高説を伺いたいと思っています。本日は、宜しく願います。

幹事報告 入江 公敏 幹事

- ①5/9の創立35周年記念移動家族例会に沢山の会員家族の参加をいただきありがとうございました。
- ②出席義務規定の免除を申請される会員は5月31日まで幹事宛申し込みをお願い致します。
- ③東慶州RCの離就任式が6月27日に開催されます。姉妹クラブ友好委員会が企画しておりますので、沢山のご参加お願い致します。

委員会報告

お祝いの方々

親睦活動委員会

梅田 秀雄 委員長

会員誕生日	中島 康次郎 君	5月22日
結婚記念日	舘盛 道明 君	5月18日
	番 桂柳 君	5月21日
創業記念日	藤塚 勝明 君	5月17日
	北島 照介 君	5月22日

卓 話

「数を楽しむ」

柏木学園長 柏木 照明 様

皆さんこんにちは。只今ご紹介をいただいた柏木であります。

私は、1946年（昭和21）より大和市に住みつき、ソバンの教室を創め、1953年（昭和28



年) 柏木簿記珠算学校の認可をとり、只今は、学校法人柏木学園として、お手元の学園ニュース5月号の裏表紙にありますよう、柏木学園高等学校、柏木実業専門学校、大和商業高等専修学校、都筑ヶ丘幼稚園と柏木実業専門学校研修センター教育事業の運営をし、現在にいたり、土地を愛し、人を愛し、その上に仕事を愛する幸せ者と感謝しております。

そして本日、大和市の各界のリーダーの方々とお会いでき、この出逢いを感謝しております。

さて本日は、皆さんとの出逢いを大事にしたいと思います。併せて、数との出逢いを楽しみたいと思います。

本日の卓話の内容は下記のアドレスからダウンロード下さい。

<http://sdrv.ms/15becZz>



スマイルボックス 岸 幸博 委員長

本日 ¥31,000 累計 ¥873,670

壽永 純昭 様(厚木RC)

早や一年が過ぎ、退任の時を迎えました。次年度、佐々木和夫(大和RC) AGをご紹介します。私に頂いたご厚情、ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

佐々木 和夫 様(大和RC)

①本日は、次年度ガバナー補佐として御挨拶にまいりました。皆様御存じのとおり、内気な性格ですので、壽永ガバナー補佐とご一緒にさせて戴き心強く思います。次年度は、IMのホストをお願いすることになりますので、宜しくお願い致します。

②会長の時間に聞いたもので、遅くなりましたが、創立35周年記念おめでとうございました。

木村 教義 様(川崎中央RC)

本日は、橋本日吉様のご紹介で川崎中央RCより表敬訪問にまいりました。宜しくお願い申し上げます。

見上 周太 様(綾瀬RC)

本日はお世話になります。

横澤 創 会長・入江 公敏 幹事

柏木照明様(柏木学園長)ようこそいらっしゃいました。本日の卓話楽しみにしています。どうぞ宜しくお願い致します。壽永純昭ガバナー補佐並びに佐々木和夫次年度ガバナー補佐、ようこそお出でいただきました。

古郡 清 君

柏木先生、お久しぶりです。私は算盤と簿記会計、長男は幼稚園でお世話になりました。本日は宜しくお願い致します。

辻 彰彦 君

柏木学園の柏木学園長様、本日はご教示宜しくお願い致します。ありがとうございます。

石川 達男 君

柏木先生、大和中RCへようこそお越し下さりありがとうございます。私も40年前、簿記を習いに行きました。

後藤 定毅 君

壽永ガバナー補佐ようこそ!一年間お世話になりました。最後にはリスボン国際大会でロータリーを楽しみましょう。佐々木次年度AG、これからご指導をお願い致します。

梅田 秀雄 君

壽永ガバナー補佐、佐々木次年度ガバナー補佐、ようこそお出で下さいました。本日は宜しくお願い致します。

橋本 日吉 君

川崎中央ロータリークラブ、会長エレクト木村様、ようこそお出で頂きました。近くに来た折にはいつでもお立ち寄りください。

長谷川 清 君

前の日曜日に私の所属するオーケストラの演奏会がありました。私はブラームスの交響曲第4番+もう一曲の一番ホルンを担当して、上手にできましたので、記念にスマイルします。

親睦活動委員会一同

先日の創立35周年記念家族例会には、多数の会員、ご家族のご出席を頂きましてありがとうございました。

館盛 道明 君

結婚記念日とのこと。月日はわかりましたが、何年過ぎたかはよく話し合います。

中島 康次郎 君

誕生日のお祝い感謝です。63才です。何とか定年までがんばれそうです。

番 桂柳 君

結婚記念日を祝って頂き、ありがとうございます。

竹内 彰 君

先日は、妻の誕生日にお花を贈って頂き、ありがとうございました。日常業務が忙しく例会への出席が少なく申し訳ございませんが、今後とも宜しくお願い致します。